

廣田收教授 略歴および主要業績

略歴

1949年 大阪府豊中市生まれ

学位

文学修士 授与機関名 同志社大学 1976年 3月

博士 (国文学) 授与機関名 同志社大学 2003年 1月

学歴

自	1965	S 40	4	雲雀丘学園高等学校	入学
至	1968	S 43	3		卒業
自	1969	S 44	4	同志社大学文学部 文化学科 国文学専攻	入学
至	1973	S 48	3		卒業
自	1973	S 48	4	同志社大学大学院 文学研究科修士課程 国文学専攻	入学
至	1976	S 51	3		修了

職歴

自	1974	S 49	4	同志社香里中学・高等学校嘱託講師	
至	1976	S 51	3		
自	1976	S 51	4	雲雀丘学園中学・高等学校教諭	
至	1977	S 52	3		
自	1977	S 52	4	同志社香里中学・高等学校教諭	
至	1981	S 56	3		
自	1979	S 54	4	同志社大学文学部嘱託講師	
至	1981	S 56	3		
自	1981	S 56	4	同志社大学文学部専任講師	
至	1984	S 59	3		
自	1984	S 59	4	同志社大学文学部助教授	
至	1990	H 2	3		
自	1990	H 2	4	同志社大学文学部教授	
自	1998	H 10	4	同志社大学大学院 文学研究科博士課程 前期課程	教授
自	2005	H 17	4	同志社大学大学院 文学研究科博士課程 後期課程	教授
自	1990	H 2	4	大阪教育大学 教育学部 嘱託講師	
至	1992	H 4	3		
自	2001	H 13	4	龍谷大学文学部・龍谷大学大学院 文学研究科 嘱託講師	
至	2007	H 19	3		
自	2003	H 15	4	大阪学院大学大学院 国際学研究科 嘱託講師	
至	2004	H 16	3		
自	2010	H 22	4	奈良女子大学文学部・大学院 文学研究科 嘱託講師(前期科目)	
至	2011	H 23	8		

役職歴

自	1990	H 2	4	文化学科学生主任	
至	1991	H 3	3		

自	1996	H8	4	文化学科研究室主任
至	1997	H9	3	
自	2010	H22	4	文学研究科国文学専攻教務主任
至	2011	H23	3	
自	2010	H22	4	文化学会会長
至	2011	H23	3	
自	2013	H25	4	国文学会会長
至	2016	H28	3	
自	2009	H21	4	国内研究
至	2010	H22	3	

主な所属学会

中古文学会（委員），中古文学会関西部会（運営委員），説話・伝承学会（委員），日本昔話学会（委員），日本口承文藝學會（理事），中世文学会，説話文学会，古代文学研究会，寺社縁起研究会関西部会，日韓比較文学研究会，日本文化研究会（2018年，日本文化学会と改称），関西軍記物語研究会

主要業績

修士論文

1976 S51 3 『伝承社会の源氏物語—人間の類同観念と他者の発見』

博士論文

2002 H14 4 『『宇治拾遺物語』の表現』

単著

- 2003 H15 2 『『宇治拾遺物語』表現の研究』笠間書院。
- 2004 H16 10 『『宇治拾遺物語』「世俗説話」の研究』笠間書院。
- 2007 H19 3 『『源氏物語』系譜と構造』笠間書院。
- 2009 H21 9 『『宇治拾遺物語』の中の昔話』新典社。
- 2009 H21 10 『講義 日本物語文学小史』金壽堂出版。
- 2011 H23 10 『講義『源氏物語』とは何か』平安書院。
- 2012 H24 9 『家集の中の「紫式部』』新典社。
- 2012 H24 10 『『紫式部集』歌の場と表現』笠間書院。
- 2012 H25 10 『帝位・見果てぬ夢の物語 皇位継承伝説』平安書院。
- 2014 H26 9 『文学史としての源氏物語』武蔵野書院。
- 2014 H26 10 『入門 説話比較の方法論』勉誠出版。
- 2018 H30 8 『古代物語としての源氏物語』武蔵野書院。

編著（著書）

2015 H27 1 『日本古典文学の方法』新典社（編及び論文「日本文学史の方法論——風巻景次郎氏に導かれて——」）。

編著（雑誌）

- 2011 H23 10 『日本古典文学研究』第1号，日本古典文学研究会（編及び講演記録「『源氏物語』帝后・先帝女官への犯し」）。
- 2012 H24 5 『日本古典文学研究』第2号，日本古典文学研究会（編及び講演記録「『源氏物語』浮舟の贖罪と救済」）。

- 2013 H25 4 『日本古典文学研究』第3号, 日本古典文学研究会(編及び論文「『宇治拾遺物語』第一九話「清徳聖奇特事」考」, 「研究ノート「『紫式部日記』「うとましの身の程や」考」)。
- 2014 H26 4 『日本古典文学研究』第4号, 日本古典文学研究会(論文「『源氏物語』二重構造」)。
- 2015 H27 1 『日本古典文学研究』第5号, 日本古典文学研究会(「まえがき 日本文学の可能性」, 「講演記録 昔話の教えること——日本文化の古層と基層——」)。
- 2015 H27 4 『日本古典文学研究』第6号, 日本古典文学研究会(「講演記録 研究方法としての構造と表現と」, 記録「研究ノート『扶桑略記』研究会報告」)。
- 2016 H28 1 『日本古典文学研究』第7号, 日本古典文学研究会(「講演記録 文学史としての『宇治拾遺物語』」)。
- 2017 H29 3 『日本古典文学研究』第8号, 日本古典文学研究会(記録「連続講演会「門跡寺院——実相院を読み解く③——」「第五章文事のせかい 洗練された教養・風雅な生活」)。
- 2018 H30 3 『日本古典文学研究』第9号, 日本古典文学研究会(記録「講義ノート」)。
- 2019 H31 3 『日本古典文学研究』第10号, 日本古典文学研究会(「『源氏物語』女三宮の恋——臣籍降嫁の波紋——」, 「講演記録「平安時代の儀式書に見る大嘗祭」)。

共編著(著書)

- 2001 H13 5 丸山顕徳・西端幸雄・廣田收・三浦俊介共編『これからの日本文学』金壽堂出版。
- 2004 H16 3 竹原成滋代表編著『奈良市民間説話調査報告書』(奈良教育大学教育学部)金壽堂出版。(論文「奈良猿沢池伝説」, 資料編の翻字協力)。
- 2007 H19 4 丸山顕徳・西端幸雄・廣田收・三浦俊介共編『新編これからの日本文学(改訂版)』金壽堂出版。
- 2008 H20 3 横井孝・廣田收・久保田孝夫共編『紫式部集大成 実践女子大学本・瑞光寺本・陽明文庫本』笠間書院。
- 2011 H23 5 上原作和・廣田收共編『紫式部と和歌の世界 一冊で読む紫式部家集』武蔵野書院。(新訂版, 2012年)
- 2014 H26 5 廣田收・横井孝・久保田孝夫共編『紫式部集からの挑発』笠間書院。
- 2016 H28 2 岡山善一郎・廣田收共編『翻訳『韓国口碑文学大系』1』日韓比較文学研究会, 金壽堂出版。
- vii 2016 H28 2 京都仏教説話研究会編『説話の中の僧たち』新典社(論文「『宇治拾遺物語』世俗の規範を探る」)。
- 2017 H29 4 廣田收・勝山貴之共著『源氏物語とシェイクスピア 文学の批評と研究と』新典社。
- 2019 H31 4 筒井加寿子・村口進介+廣田收共著『演劇からみる宇治拾遺物語』金壽堂出版。

共編著（雑誌）

- 2011 H23 1 廣田収・岡山善一郎共編『日韓比較文学研究』第1号，日韓比較文学研究会（論文「『宇治拾遺物語』説話「猿神退治」の特質，論文「伝承的表現論」）。
- 2011 H23 11 廣田収・岡山善一郎共編『日韓比較文学研究』第2号，日韓比較文学研究会（講演記録・論文「日韓比較文学研究の可能性」）。
- 2013 H25 2 廣田収・岡山善一郎共編『日韓比較文学研究』第3号，日韓比較文学研究会（講演記録・論文「伝承的表現論——昔話と唱え言——」）。
- 2014 H26 5 廣田収・岡山善一郎共編『日韓比較文学研究』第4号，日韓比較文学研究会（講演記録・論文「昔話『瘤取爺』の日韓比較研究」）。
- 2016 H28 1 廣田収・岡山善一郎共編『日韓比較文学研究』第5号（講演記録・論文「これからの日本古典文学研究の可能性——比較という方法——」，「『韓国口碑文学大系』の採録と語り——日本笑話「和尚と小僧」との比較をめぐって——」）。
- 2017 H29 3 廣田収・岡山善一郎共編『日韓比較文学研究』第6号（講演記録・論文「『韓国口碑文学大系』の口碑「新房のぞき見」の話型——日本説話との比較をめぐって——」）。
- 2018 H30 3 廣田収・岡山善一郎共編『日韓比較文学研究』第7号（講演記録・論文「天人女房 再考」 pp.34-68）。
- 2019 H31 3 廣田収・岡山善一郎共編『日韓比較文学研究』第8号（講演記録・論文「わらしべ長者の比較研究——昔話の話型の分類をめぐって——」，講演記録・論文「話型「天人女房」の比較研究」）。

廣田収教授
略歴および主要業績

論文

- 1974 S49 3 「紫式部の表現——宣孝の死を契機に」同志社大学国文学会編『同志社国文学』第9号。
- 1974 S49 7 「日界からの訪れ——白鳥処女伝説」廣川勝美編『物語と説話——物語と説話の世界』汐文社。（第Ⅲ章1節）
- 1974 S49 7 「日界への回帰——姥捨伝説」同上，（第Ⅲ章2節）。
- 1976 S51 5 「六条院の構造——光源氏物語の形成と転換」廣川勝美編『神話・禁忌・漂泊』桜楓社。（第三章二節）。
- 1976 S51 5 「聖なるもの末裔——孤児・継子・申し子」同上。（第二章三節）。
- 1977 S52 10 「源氏物語における『ゆかり』から他者の発見へ」中古文学会編『中古文学』第二〇号。
- 1978 S53 5 「源氏物語の基層原理」廣川勝美編『源氏物語の植物』笠間書院。（第Ⅰ章）
- 1978 S53 5 「源氏物語の表象構造」同上，（第Ⅱ章）。
- 1978 S53 6 「ムレから追われたもの——民話のうちなる死」土橋寛監修・廣川勝美編『民間伝承集成 民話』創世記，（第Ⅴ章）。
- 1978 S53 8 「継子・娘と実父・娘——源氏物語の人物設定——」古代文学研究会編『古代文学研究』第3号。
- 1978 S53 12 「物語とカタリ」の構造——落窪物語の前後」日本文学協会編『日本文学』1978年12月号。

viii

- 1979 S 54 5 「木地師——その空間 共同体の周縁」土橋寛監修・廣川勝美編『民間伝承集成 木地師』創世記。(第三章)
- 1979 S 54 5 「木地師——その聖性 異形の山民」同上,(第四章)
- 1979 S 54 5 「反神話から非神話への転換」中古文学研究会編『論集中古文学 源氏物語の表現と構造』笠間書院。
- 1979 S 54 10 「源氏物語における『ゆかり』の様相」日本文学協会編『日本文学』1979年10月号。
- 1980 S 55 1 「平安中期女流私家集の共通項」同志社大学国文学会編『同志社国文学』第一五号。
- 1980 S 55 12 「周縁の道——中心のない行程」土橋寛監修・廣川勝美編『民間伝承集成 塩の道』創世記。(第四章)
- 1980 S 55 12 「ムラと道——『塩の道』の機能」同上,(第V章)
- 1981 S 56 3 「源氏物語作中和歌の一機能」同志社大学国文学会編『同志社国文学』第一八号(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中古2』(朋文出版,1982年11月)に転載)
- 1982 S 57 5 「源氏物語における和歌の伝承性」日本文学協会編『日本文学』1982年5月号。
- 1982 S 57 9 「源氏物語六条院の負の構造」南波浩編『王朝物語とその周辺』笠間書院。
- 1982 S 57 11 「ツキモノ伝承の方法——証言と解釈」土橋寛監修・廣川勝美編『民間伝承集成 憑きもの』創世記。(第二章)
- 1982 S 57 12 「源氏物語における『王権』とその伝承性」日本文学協会編『日本文学』。
- 1983 S 58 9 「源氏物語における『王権』論の可能性」同志社大学人文学会編『人文学』第139輯。
- 1984 S 59 10 「日嗣のトポロジー」廣川勝美編『伝承の神話学 アイデンティティのトポロジー』人文書院。(第四章)
- 1985 S 60 4 「物語りににおける伝承と様式」日本文学協会編『日本文学』1985年4月号。
- 1986 S 61 3 「『いづれの御時にか』と光源氏の物語り」同志社大学国文学会編『同志社国文学』第27号。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中古2』(朋文出版,1987年11月)に転載)
- 1986 S 61 9 「桐壺更衣の物語りと歌の位相」同志社大学人文学会編『人文学』第143輯。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中古2』(朋文出版,1987年11月)に転載)
- ix 1987 S 62 3 「系譜の語り継ぎ」駒木敏編『神謡・神話・物語』桜楓社。(第四章)
- 1987 S 62 6 「伝承者の系譜 物語りの話者の位相」日本文学協会編『日本文学講座 物語・小説Ⅱ』大修館書店。
- 1988 S 63 4 「『源氏物語』における様式としての垣間見」土橋寛編・廣川勝美編集『古代文学の様式と機能』桜楓社。
- 1988 S 63 7 「『源氏物語』における音楽と系譜」源氏物語探求会編『源氏物語の

- 探求』第十三輯，風間書房。
- 1989 H1 1 「俵藤太絵巻」三谷栄一編『体系物語文学史 物語文学の系譜』有精堂。
- 1989 H1 12 「『紫式部集』の地名」同志社大学国文学会編『同志社国文学』第31号。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中古1』(朋文出版, 1989年10月)に転載)
- 1990 H2 2 「花の景としての都」南波浩編・廣川勝美編集『源氏物語 地名と方法』桜楓社。
- 1990 H2 3 「『紫式部集』における歌と署名——女房の役割と歌の表現」同志社大学文化学会編『文化学年報』第38輯。
- 1990 H2 3 「『紫式部集』歌の場と表現——いわゆる宮仕え期の歌の解釈について」同志社大学人文学会編『人文学』第147号。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中古1』(朋文出版, 1990年10月)に転載)
- 1991 H3 5 「『伊勢物語』の方法——初段と二段の地名から見る——」日本文学協会編『日本文学』1991年5月号。
- 1993 H5 3 「『江談抄』「大納言道明到市買物事」釈解」同志社大学国文学会編『同志社国文学』第38号。
- 1994 H6 11 「『江談抄』「朱雀門鬼盜—取玄上—事。」注釈」同志社大学国文学会編『同志社国文学』第41号。
- 1996 H8 3 「昔話『鼠浄土』と唱え言——伝承表現論をめざして——」同志社大学人文学会編『人文学』第160号。
- 1997 H9 3 「昔話における「唱え言」——「癩取翁」をめぐる——」同志社大学人文学会編『人文学』第161号。
- 1997 H9 3 「『宇治拾遺物語』「道命阿闍梨」考」『歴史文化研究』第4号, おうふう。
- 1998 H10 3 「『宇治拾遺物語』「五条洞院翁」考」同志社大学国文学会編『同志社国文学』第48号。
- 2000 H12 3 「『宇治拾遺物語』「癩取翁」考」同志社大学人文学会編『人文学』第167号。
- 2000 H12 12 「『江談抄』惟喬親王伝説」同志社大学人文学会編『人文学』第168号。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中古3』(朋文出版, 2002年4月)に転載)。
- 2000 H12 12 「『宇治拾遺物語』の思想——末尾話と冒頭話をめぐる——」同志社大学国文学会編『同志社国文学』第53号。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中世2』(朋文出版, 2004年6月)に転載)
- 2001 H13 3 「『宇治拾遺物語』「秦兼久悪口事」考」同志社大学人文学会編『人文学』第69号。
- 2001 H13 3 「『宇治拾遺物語』「筑摩湯観音沐浴事」考」同志社大学文化学会編『文化学年報』第50輯。
- 2001 H13 12 「『宇治拾遺物語』の編纂と物語の表現」同志社大学人文学会編『人文学』第170号。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中世2』(朋文出版, 2003年12月)に転載)

- 2002 H14 3 「『宇治拾遺物語』における同話と類話——説話分析の方法——」同志社大学国文学会編『同志社国文学』第56号。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中世2』(朋文出版, 2004年8月)に転載)
- 2002 H14 11 「『紫式部集』「数ならぬ心」考」南波浩編『紫式部の方法 源氏物語・紫式部集・紫式部日記』笠間書院。
- 2003 H15 3 「古代物語と成人儀礼」説話・伝承学会編『説話・伝承学』第11号。
- 2003 H15 6 「『宇治拾遺物語』「博打子婿入事」考」説話文学会編『説話文学研究』第38号。
- 2003 H15 12 「『宇治拾遺物語』「世俗説話」の研究」同志社大学人文学会編『人文学』第174号。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中世2』(朋文出版, 2005年10月)に転載)
- 2004 H16 3 「『宇治拾遺物語』の叙述と表現——第一一三話「博打子婿入事」をめぐって——」同志社大学人文学会編『人文学』第175号。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中世2』(朋文出版, 2006年10月)に転載)
- 2004 H16 6 「物語論としての王権論と桐壺帝——『源氏物語』の皇統譜と光源氏」高橋亨編『源氏物語と帝』森話社。
- 2004 H16 11 「『宇治拾遺物語』第六話「仮名暦詠タル事」考」同志社大学国文学会編『同志社国文学』第61号。
- 2005 H17 3 「『雑談集』地名としての「稻荷」——説話の話型と固有名詞をめぐって——」稻荷大社編集部編『朱』第48号。
- 2005 H17 3 「『宇治拾遺物語』「小野篁広才事」考」同志社大学国文学会編『同志社国文学』第62号。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中世2』(朋文出版, 2007年9月)に転載)
- 2005 H17 3 「『落窪物語』における邸第の伝領——平安京における継子苛めの物語——」同志社大学人文学会編『人文学』第177号。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中古3』(朋文出版, 2007年6月)に転載)
- 2005 H17 4 「平安京の物語としての『宇治拾遺物語』」『國文學』学燈社, 2005年4月号。
- 2005 H17 7 「『宇治拾遺物語』の中の昔話」日本昔話学会編『昔話——研究と資料——』第33号。
- 2005 H17 12 「宇治十帖の問題系 入水しない浮舟, 成長しない薫」関根賢司編『『源氏物語』宇治十帖の企て』おうふう。
- 2005 H17 12 「『紫式部集』における和歌の配列と編纂——冒頭歌と末尾歌の照応をめぐって——」同志社大学人文学会編『人文学』第178号。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中古1』(朋文出版, 2007年6月)に転載)
- 2006 H18 3 「『宇治拾遺物語』「猿神退治」考」同志社大学文化学会編『文化学年報』第55輯。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中世2』(朋文出版, 2008年10月)に転載)
- 2006 H18 3 「昔話の話型と語り——昔話「鳥呑爺」と唱え言をめぐって——」

- 同志社大学人文学会編『人文学』第179号。
- 2007 H19 4 「滋賀の民話・民話の未来」滋賀県文化振興事業団編『湖国と文化』春季号, 第199号。
- 2007 H19 5 「内裏と大内裏の文学空間」日向一雅責任編集, 倉田実編『王朝文学と建築・庭園』竹林舎。
- 2008 H20 3 「『宇治拾遺物語』優婆崛多考」小林保治監修『中世文学の回廊』勉誠出版。
- 2008 H20 4 「話型『天人女房』考」説話・伝承学会編『説話・伝承の脱領域 説話・伝承学会創立25周年記念論集』岩田書院。
- 2008 H20 4 「『病い』の言葉」糸井通浩・神尾暢子共編『王朝物語のしぐさとことば』清文堂。
- 2008 H20 5 「『紫式部日記』の構成と叙述」秋山虔・福家俊幸共編『紫式部日記の新研究 表現の世界を考える』新典社。
- 2009 H21 9 「説話, 歴史物語の中の音楽, 舞楽」堀淳一編『王朝文学と音楽』竹林舎。
- 2010 H22 11 「『紫式部集』冒頭歌考 ——歌の場と表現形式を視点として——」同志社大学人文学会編『人文学』第186号。
- 2011 H23 3 「『紫式部集』離別歌としての冒頭歌と二番歌」同志社大学人文学会編『人文学』第187号。(論説資料保存会編『日本語学論説資料』(第48号)に転載。及び, 学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中古1』(朋文出版, 2,014年3月)に転載)
- 2011 H23 11 「『源氏物語』「独詠歌」考」同志社大学人文学会編『人文学』第188号。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中古2』(朋文出版, 2014年4月)に転載)
- 2011 H23 11 「日本の古典と昔話——共有される話型をめぐって——」花部英雄・松本孝三編『語りの講座 昔話を知る』三弥井書店。
- 2012 H24 2 「話型としての『紫式部集』」高橋亨編『〈紫式部〉と王朝文芸の表現史』森話社。
- 2012 H24 3 「『宇治拾遺物語』冒頭話考」同志社大学人文学会編『人文学』第189号。(『国文学年次別論文集 中世2』(朋文出版, 2016年9月)に転載)
- 2012 H24 11 「『宇治拾遺物語』河原院考」同志社大学人文学会編『人文学』第190号。(『国文学年次別論文集 中世2』(朋文出版, 2016年9月)に転載)
- 2013 H25 3 「『今昔物語集』の表現と思想」同志社大学国文学会編『同志社国文学』第78号。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中古2・3』(朋文出版, 2,018年1月)に転載)
- 2013 H25 3 「『源氏物語』「垣間見」再考」同志社大学人文学会編『人文学』第191号。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中古2・3』(朋文出版, 2,018年1月)に転載)
- 2013 H25 4 「紫式部とその周辺——『紫式部日記』『紫式部集』の女房たち——」久下裕利編『王朝の歌人たちを考える——交遊の空間——』

- 武蔵野書院。
- 2013 H25 11 「『宇治拾遺物語』佐多考」同志社大学人文学会編『人文学』第192号。(学術文献刊行会『国文学年次別論文集 中世2』(朋文出版, 2,018年7月)に転載)
- 2014 H26 3 「『宇治拾遺物語』慶植考」同志社大学人文学会編『人文学』第193号。
- 2014 H26 3 「『宇治拾遺物語』の説話と伝承——文芸比較の方法のために——」『説話・伝承学』第22号。
- 2014 H26 3 「昔話と比較研究の問題点——文芸比較の方法論に向けて——」(シンポジウム「東アジアの昔話研究の再検討」研究代表・石井正巳『国際化時代を視野に入れた説話と教科書に関する歴史的研究』(平成25年度広域科学教科教育学報告書))
- 2014 H26 11 「孤立話から見る『宇治拾遺物語』の特質——仏教の世俗化と本覚思想——」同志社大学国文学会編『同志社国文学』第81号。
- 2014 H26 12 「『源氏物語』における人物造型——若菜巻以降の光源氏像をめぐって——」同志社大学人文学会編『人文学』第194号。
- 2015 H27 3 「光前寺略縁起と早太郎伝説」同志社大学人文学会編『人文学』第195号。
- 2015 H27 5 「『源氏物語』の方法——『河海抄』「准拠」を手がりに——」久下裕利・田坂憲二編『源氏物語の方法を考える——史実の回路——』武蔵野書院。
- 2015 H27 11 「『源氏物語』は誰のために書かれたか——中宮学に向けて——」同志社大学人文学会編『人文学』第196号。
- 2016 H28 3 「『宇治拾遺物語』新羅国后考」同志社大学国文学会編『同志社国文学』第84号。
- 2016 H28 3 「昔話と唱え言・昔話の唱え言——話型と伝承的表現——」日本口承文芸学会編『口承文芸研究』第39号。
- 2017 H29 3 「民間説話の歴史性とは何か——『風土記』の在地神話と昔話, そして中世説話——」同志社大学人文学会編『人文学』第199号。
- 2017 H29 3 「文献説話の話型と表現の歴史性——対照軸としての昔話, 昔話研究——」日本昔話学会編『昔話 研究と資料』第45号。
- 2017 H29 6 「『源氏物語』「物語」考」『国語と国文学』94巻6号。
- 2017 H29 8 「民間説話と歴史性——神話と昔話, そして中世説話」伝承文学研究会編『伝承文学研究』第66号。
- 2017 H29 11 「『源氏物語』「物の怪」考(一)——六条御息所を中心に——」同志社大学人文学会編『人文学』第200号。
- 2018 H30 3 「『今昔物語集』「物語」考」同志社大学文化学会編『文化学年報』第67輯。
- 2018 H30 3 「『源氏物語』「物の怪」考(二)——六条御息所を中心に——」同志社大学人文学会編『人文学』第201号。
- 2018 H30 3 「式部卿宮の姫君の出仕」横井孝・久下裕利共編『知の遺産シリーズ 宇治十帖の新世界』武蔵野書院。

- | | | | |
|------|-----|----|---|
| 2018 | H30 | 10 | 『『栄花物語』「進命婦」考——続編の叙述の方法をめぐって——』高橋亨・辻和良共編『栄花物語 歴史からの奪還』森話社。 |
| 2019 | H31 | 3 | 「昔話の語りと文体——桜井小菊の「屁こき爺」をめぐって——」同志社大学文化学会編『文化学年報』第67輯。 |
| 2019 | H31 | 3 | 『『竹取物語』の文体と構成——冒頭の表現を伝承の視点から読む——』『説話・伝承学』第27号。 |
| 2019 | R1 | 11 | 『『宇治拾遺物語』猿楽考』同志社大学人文学会編『人文学』第204号。 |
| 2020 | R2 | 3 | 『『竹取物語』の表現「いつつもちて」考』同志社大学国文学会編『同志社国文学』第92号。 |
| 2020 | R2 | 3 | 『『宇治拾遺物語』藤原朝成 水飯考』同志社大学人文学会編『人文学』第205号。 |
| 書評 | | | |
| 1983 | S58 | 10 | 日向一雅『源氏物語の主題』日本文学協会編『日本文学』1983年10月号。 |
| 1986 | S61 | 4 | 藤井貞和『言問う薬玉』日本文学協会編『日本文学』1986年4月号。 |
| 1986 | S61 | 7 | 林田孝和『異郷論〔王朝びとの心象〕』、『國學院雑誌』昭和61年7月号。 |
| 1989 | S63 | 9 | 多田一臣『古代国家の文学——日本霊異記とその周辺』日本文学協会編『日本文学』1988年9月号。 |
| 1990 | H2 | 5 | 相馬大『源氏物語の女性たち』『京都民報』1990.5.20付 |
| 1990 | H2 | 11 | 鈴木日出男『源氏物語歳時記』日本文学協会編『日本文学』1990年11月号。 |
| 2000 | H12 | 10 | 中根千絵『今昔物語集の表現と背景』古代文学研究会編『古代文学研究』第二次第9号。 |
| 2005 | H17 | 10 | 花部英雄『昔話と呪歌』、『國學院雑誌』平成17年10月号。 |
| 2018 | H30 | 10 | 久富木原玲『源氏物語と和歌の論 異端へのまなざし』古代文学研究会編『古代文学研究』第二次第27号。 |
| 資料 | | | |
| 2001 | H13 | 7 | 阿部奈南他編「資料 月ヶ瀬村の伝説と世間話」翻字協力、日本昔話学会編『昔話——研究と資料 本格昔話と植物』三弥井書店。 |
| 2002 | H14 | 10 | 「秋季特別展『実相院に見る和歌と連歌の世界』展示資料解題」（編集及び論文「『源氏供養草子』」）。 |
| 2003 | H15 | 3 | 『実相院古典籍調査報告資料集 第一輯』（編集及び「資料解題 実相院蔵『源氏供養草子』」、及び『同 第二輯』、『同 第三輯』の編集。 |
| 2003 | H15 | 10 | 「秋季特別展『実相院をめぐる人々』」展示資料解題」（編集及び資料解題）。 |
| 2004 | H16 | 3 | 『実相院古典籍調査報告資料集 第四輯』（編集及び「資料解題 実相院蔵『鷹首百』」）。 |
| 2004 | H16 | 9 | 『実相院古典籍調査報告資料集 第五輯』（編集及び「資料解題 実相院蔵『徒然草僻案』」、講演記録「記録 実相院文化修復事業 第 |

- 一回講演資料 地獄に堕ちた紫式部 ——実相院蔵「源氏供養」をめぐって——)。
- 2004 H16 12 「資料紹介 実相院蔵『源氏供養草子』」同志社大学人文学会編『人文学』第176号。(学術資料刊行会『国文学年次別論文集 中世2』(朋文出版, 2006年10月)に転載)
- 2005 H17 6 『実相院古典籍調査報告資料集 第六輯』(編集及び「資料解題 実相院蔵『寺徳集并新羅問答』, 「翻刻 囊祖大師入唐事/田上不動堂勸進之事」, 講演記録「記録 実相院文化修復事業 第四回講演資料 京都北山を舞台とする『源氏物語』」)
- 2006 H18 3 『実相院古典籍調査報告資料集 第七輯』(編集及び「翻刻 倭譚十妹」, 「報告『『実相院日記』「四足御門」関係記事」, 論文「『古事談』「四足門」の伝説」。
- 2007 H19 10 『実相院古典籍調査報告資料集 第八輯』(編集及び「報告「『大雲寺縁起』本縁起と略縁起」。
- 2008 H20 5 『実相院古典籍調査報告資料集 第九輯』(編集及び「翻刻『愚迷発心集』」, 講演記録「記録「『源氏物語』千年記念講演「源氏供養 紫式部追善供養の儀式と物語」)。
- 2009 H21 3 『実相院古典籍調査報告資料集 第一〇輯』(編集及び「翻刻『大雲寺古記』」)。
- 2010 H22 10 『実相院古典籍調査報告資料集 第一一輯』(編集及び「翻刻解題『初心勧学鈔』」)。
- 2011 H23 4 『『私聚百因縁集』卷第九注釈』(加美甲多編, 分担項目)。
- 2011 H23 5 『実相院古典籍調査報告資料集 第一二輯』(編集及び「翻刻『新羅明神鎮座説』」)。
- 2012 H24 5 『実相院古典籍調査報告資料集 第一三輯・最終号』(編集及び「翻刻『北岩倉證光寺記』」)。
- 2012 H24 9 『観音利益集 注釈』(久留島元編, 分担項目)。
- 2012 H24 9 『『雑々集』上巻 注釈』(梅田昌孝と共編, 編集及び分担項目)。
- 2014 H26 4 『因縁抄』注釈』(梅田昌孝と共編, 編集及び分担項目)。
- 2015 H27 1 『『考訂今昔物語』翻刻と解説1』『考訂今昔物語』研究会編(分担項目)。
- 2015 H27 3 『『雑和集』注釈(抄)』(倉島実里と共編, 編集及び分担項目)。
- 2016 H28 2 「因縁解説「第五章 文事のせかい」」京都文化博物館『京都 実相院門跡』思文閣, (分担項目)。
- 2016 H28 3 「『頼豪阿闍梨絵巻絵詞』注釈』(城阪早紀編, 分担項目)。
- 2017 H29 3 「『源氏物語寢宴和歌』注釈』(風岡むつみ編, 分担項目)。
- 2018 H30 3 「『真如堂縁起絵巻』注釈』(八木智生編, 分担項目)。
- 2019 H31 3 「『金言類聚抄』注釈』(嶋中佳輝編, 分担項目)。
- その他
- 1975 S50 1 「『源氏物語』季節と植物」同志社大学国文学会大学院部会編『研究会報』第5・6合併号。
- 1976 S51 8 「大和物語の政治的性格」古代文学研究会編『古代文学研究』第1

- 号。
- 1977 S52 3 「朽木村 群れとカタリ」日本文学協会編『日本文学』1977年3月号。
- 1978 S53 4 「『竹河三帖』の構造——光源氏物語と宇治十帖との媒介——」同志社大学国文学会院生部会編『研究会報』第9号。
- 1978 S53 6 「イロリの話」土橋寛監修・廣川勝美編『民間伝承集成 民話』月報, 創世記。
- 1979 S54 12 「落窪物語」『解釈と鑑賞』1980年1月号, 至文堂。
- 1983 S58 3 「伊勢物語の鑑賞 翁章段」有精堂編集部編『一冊の講座 伊勢物語』有精堂。
- 1985 S60 6 「物語と神話」『國文學』1985年7月号, 學燈社。
- 1985 S60 8 「神話」『國文學』1985年9月号, 學燈社。
- 1987 S62 1 「私の研究 『源氏物語』 研究の可能性はどこにあるか」『同志社時報』第83号。
- 1987 S62 3 「『大歌所御歌』の特色と構造」有精堂編集部編『一冊の講座 古今和歌集』有精堂。
- 2001 H13 6 「神泉苑の龍——天皇制の中の神格」『アジア遊学』第28号。勉誠出版。
- 2004 H16 5 「紫式部日記」田中登・山本登朗共編『平安文学研究ハンドブック』和泉書院。
- 2004 H16 8 「第28回大会報告・講評 〈研究発表〉第一会場」『日本口承文芸学会会報 伝え』第35号, 日本口承文藝學會。
- 2005 H17 6 「説話と伝承 「成らねば切るぞ」唱え言」『全国農業新聞』2005.6.16付。
- 2006 H18 4 「昔話と歌」浅田徹他編『和歌をひらく 第四卷 和歌とウタの出会い』岩波書店。
- 2006 H18 6 「耳袋 亡霊の和歌」『全国農業新聞』2006.6.16付。
- 2007 H19 2 「耳袋 酒呑みの悪い癖」『全国農業新聞』2007.2.16付。
- 2007 H19 7 「言葉としての昔話」『昔話 研究と資料』第35号。
- 2007 H19 11 「昔話『瘤取り爺』とうた」日本口承文芸学会編『シリーズことばの世界 第四卷 うたう』三弥井書店。
- 2007 H19 8 「耳袋 連歌と世間話」『全国農業新聞』2007.8.17付。
- 2007 H19 9 「耳袋 長寿の秘けつ」『全国農業新聞』2007.9.21付。
- 2010 H22 2 「昔話の本文 text はどこに求めるか」『日本口承文芸学会会報 伝え』第46号。
- 2010 H22 4 「護良親王と般若寺」, 「采女と猿沢池」丸山顯徳編『奈良伝説探訪』三弥井書店。
- 2010 H22 6 「シンポジウム 『紫式部集』 研究の現在 司会の記」『中古文学』第85号。
- 2010 H22 10 「説話世界の縁起」堤邦彦・徳田和夫編『遊楽と信仰の文化学』森話社。
- 2010 H22 12 「妖怪物語として読む『今昔物語集』」『怪』第31号, 角川書店。

- 2011 H23 12 「宮廷人たちの物怪対処法と陰陽師の活躍」『怪』第34号, 角川書店。
- 2012 H24 10 「口承文芸としての都市伝説」『日本口承文芸学会会報 伝え』第46号。
- 2013 H25 10 「民俗資料の口承文芸と基層をなす神話——大島建彦氏の講演「江戸東京の民俗信仰を拝聴して——」『日本口承文芸学会会報 伝え』第53号。
- 2014 H26 10 堤邦彦・橋本章彦編『異界百夜語り』三弥井書店(分担項目)。
- 2016 H28 2 「物語の作者 桜井市」丸山顕徳編『大和の歴史と伝説を訪ねて』三弥井書店。
- 2017 H29 3 「新刊紹介 斎藤英喜編『神話・伝承学への招待』」日本口承文芸学会編『口承文芸学研究』第40号。
- 2017 H29 9 「第41回口承文芸学会大会 研究発表報告」日本口承文芸学会編『伝え』第61号。
- 2018 H30 9 「第42回口承文芸学会大会 公開講演会報告」日本口承文芸学会編『伝え』第63号。
- 2019 R1 11 花部英雄・小堀光夫共編『47都道府県 民話百科』丸善出版, 廣田担当「大阪府」。

辞書項目

- 2011 H23 11 「法制, 政務」関係の13項目, 小町谷照彦・倉田実共編『王朝文学文化歴史大事典』笠間書院。
- 2016 H28 8 「相撲」「変身」「竹姫」「双子」など4項目, 篠田知和基・丸山顕徳共編『世界神話伝説大事典』勉誠出版。

研究発表

- 1974 S49 10 「『源氏物語』季節と植物」日本文学協会京都支部, 於同志社大学。
- 1977 S52 5 「源氏物語における人間の類同観念から他者の発見へ」中古文学会春季大会, 於京都女子大学。
- 1977 S52 8 「ウタとカタリ」物語研究会・古代文学研究会合同大会, 於三重県鳥羽市・賢島国民宿舎。
- 1977 S52 11 「短歌教材の可能性——中学二年生——」同志社大学国文学会, 於京都府立勤労会館。
- 1978 S53 6 「母なき子の物語」古代文学研究会, 於名古屋大学。
- 1979 S54 5 「源氏物語の母性とゆかり」日本文学協会古代部門研究発表大会, 於大阪教育大学。
- 1982 S57 7 「シンポジウム・テーマ 古代王権と文学」, 「源氏物語六条院の『王権』と伝承性」日本文学協会研究発表大会, 於法政大学。
- xvii 1982 S57 7 「古代『王権』と源氏物語研究」古代文学研究会, 於立命館大学白雲荘。
- 1983 S58 2 「竹取物語のウタとカタリ」同志社大学国文学会, 於同志社大学。
- 1983 S58 6 「竹取物語と源氏物語」古代文学研究会, 鳥羽市。
- 1985 S60 5 「源氏物語桐壺巻における伝承と様式」中古文学会春季大会, 於学習院大学。
- 1985 S60 7 「天皇・都・源氏物語」日韓古典文学会, 於天理大学。

- 2000 H12 4 「『宇治拾遺物語』『癩取翁』考」古代文学研究会，於愛知県本山生活文化会館。
- 2000 H12 7 「『宇治拾遺物語』『癩取翁』小考——昔話「癩取翁」との比較をめぐって——」日本昔話学会大会，於梅花女子大学。
- 2000 H12 12 「『宇治拾遺物語』『雀報恩事』考——昔話「腰折雀」との比較をめぐって——」比較民話研究会・歌謡研究会合同大会，於奈良教育大学。
- 2001 H13 1 「説話集と絵巻における『鬼』の図像」比較民話研究会，於奈良教育大学。
- 2002 H14 1 「シンポジウム・テーマ 説話・伝承と成人儀礼」，「物語と成人儀礼——」説話・伝承学会，於大阪市国際交流センター。
- 2002 H14 6 「『宇治拾遺物語』『博打子婿入事』考」説話文学会春季大会，於奈良女子大学。
- 2002 H14 7 「日本の『宇治拾遺物語』と昔話「癩取翁」」第二次東亞細亞敘事文學國際學術大會，（東亞細亞古代学会・韓国古小説学会・パンソリ学会合同大会）於同志社大学。
- 2002 H14 8 「『源氏物語』の皇統譜と光源氏の物語り」古代文学研究会大会，「大会テーマ『源氏物語』と帝」。於岐阜県高山市，ホテル・フーゴ juego。
- 2004 H16 8 「物語としての『源氏物語』宇治十帖——場面と話型をめぐって——」古代文学研究会大会，於三重県久居市。
- 2004 H16 12 「昔話の話型と語り——昔話「鳥吞翁」と唱え言をめぐって——」比較民話研究会・歌謡研究会合同大会，於奈良教育大学。
- 2006 H18 7 「猿沢池の伝説」南都文化研究組織（NCCS），於奈良元興寺文化財研究所。
- 2006 H18 12 「般若寺護良親王の伝説」南都文化研究組織（NCCS），於奈良佐保女子短期大学。
- 2007 H19 2 「昔話「天人女房」考」比較民話研究会，於奈良教育大学。
- 2007 H19 7 「昔話における伝承的表現——土橋寛の文学発生論——」比較民話研究会，於奈良教育大学。
- 2007 H19 7 「平城天皇伝説」南都文化研究組織（NCCS），於奈良教育大学。
- 2007 H19 10 「『大雲寺縁起』本縁起と略縁起」寺社縁起研究会関西部会，於京都精華大学。
- 2008 H20 3 「『今昔物語集』の表現と思想」南都文化研究組織（NCCS），於奈良元興寺文化財研究所。
- 2009 H21 9 「『紫式部集』冒頭歌考——歌の場と表現形式を視点として——」古代文学研究会，於龍谷大学。
- 2011 H23 8 「『源氏物語』『独詠歌』考」古代文学研究会大会，於姫路市。
- 2014 H26 12 「駒ヶ根光前寺略縁起と早太郎伝説」寺社縁起研究会関西部会例会，於京都精華大学。
- 2017 H29 6 「『源氏物語』『物の怪』考」古代文学研究会，於同志社大学。
- 2017 H29 9 「『扶桑略記』の記事と歴史の編纂と」扶桑略記研究会研究集会，於

- 同志社大学。
- 2019 R1 11 『『源氏物語』における詠歌の場と表現——「言忌み」をめぐる——』古代文学研究会，於中京大学。
- 学術講演
- 2004 H16 7 『『宇治拾遺物語』の中の昔話』日本昔話学会大会，於東海学園大学。
- 2008 H20 8 「国文学のフィールドワーク——地域の社会教育の現場を念頭に置いて——」平成20年度伊香郡社会教育委員連絡協議会研修会，於余呉町羽衣ホール，余呉町。
- 2008 H20 12 「説話文学と宮中行事」専修大学文学部 公開シンポジウム「王朝文学と宮中行事」，於鎌倉鶴岡八幡宮。
- 2009 H21 10 シンポジウム「『紫式部集』研究の現在」司会とコーディネイト，中古文学会秋季大会，於関西大学。
- 2011 H23 3 『『源氏物語』帝后・先帝女官への犯し』日本文化研究会，於神戸女子大学。
- 2011 H23 6 「日韓比較文学研究の可能性」日韓比較文学研究会大会，於天理大学。
- 2011 H23 11 『『源氏物語』浮舟の贖罪と救済』日本文化研究会，於宇治市橋寺放生院。
- 2012 H24 7 「伝承的表現論——昔話と唱え言——」日韓比較文学研究会大会，於同志社大学。
- 2013 H25 4 『『宇治拾遺物語』の説話と伝承——文芸比較の方法のために——』説話・伝承学会春季大会，於静岡文化芸術大学。
- 2013 H25 9 「昔話『瘤取爺』の日韓比較研究——日本昔話の特質はどこにあるか——」日韓比較文学研究会大会，於同志社大学。
- 2014 H26 2 「東京学芸大学フォーラム 東アジアの昔話研究の歴史と未来，シンポジウムテーマ 東アジアの昔話研究の再検討「昔話と比較研究の問題点——文芸比較の方法論に向けて——」於東京学芸大学。
- 2014 H26 5 「昔話の教えること——日本文化の古層と基層——」日本文化研究会，於同志社大学。
- 2014 H26 7 「これからの日本古典文学研究の可能性——比較という方法——」2014年度東アジア古代学会・日韓比較文学研究会合同，夏季国際学術大会，於同志社大学。
- 2014 H26 7 『『源氏物語』の作り方・作られ方』日本文化研究会，於神戸女子大学。
- 2014 H26 9 「沈黙という自己主張——『源氏物語』光源氏の思想——」日本文化研究会・環太平洋神話研究会・神戸神事芸能研究会合同大会，於神戸女子大学。
- 2015 H27 6 「昔話と唱え言・昔話の唱え言——話型と伝承的表現——」日本口承文芸学会大会，於國學院大學。
- 2015 H27 9 『『源氏物語』は誰のために書かれたか——中宮学に向けて——』日台交流合同学会（日本文化研究会・環太平洋神話研究会・神戸神事芸能研究会合同学会）於同志社大学。

- 2015 H27 10 「文学史としての『宇治拾遺物語』」龍谷学会学術講演会，於龍谷大学。
- 2015 H27 11 「『韓国口碑文学大系』の採録と語り——日本笑話「和尚と小僧」との比較をめぐって——」日韓比較文学研究会大会，於天理大学。
- 2016 H28 2 「基調講演 文芸比較の方法論——文献説話と口承説話——」東方文学比較研究会・日韓比較文学研究会・日本古典文学会合同大会，於天理大学。
- 2016 H28 3 実相院門跡展連続講演会「門跡寺院・実相院を読み解く②」於京都文化博物館。
- 2016 H28 3 「平安時代の病と薬」日本文化研究会，於神戸女子大学。
- 2016 H28 7 「シンポジウムテーマ「昔話の民俗学的研究の可能性」」，「文献説話の話型と表現の歴史性——対照軸としての昔話，昔話研究」日本昔話学会大会，於高千穂大学。
- 2016 H28 8 「物詣の旅と椿市」日本文化研究会，於神戸女子大学。
- 2016 H28 9 「シンポジウムテーマ「民間説話と歴史性」」，「基調講演「『風土記』の在地神話と昔話，そして中世説話」」伝承文学研究会大会，於学習院女子大学。
- 2016 H28 11 「『韓国口碑文学大系』の口碑「新房のぞき見」の話型——日本説話との比較をめぐって——」日韓比較文学研究会大会，於同志社大学。
- 2017 H29 11 「『天人女房』の神話と昔話 再考」日韓比較文学研究会大会，於同志社大学。
- 2018 H30 10 「『源氏物語』女三宮の恋——臣籍降嫁の波紋——」日本文化学会（日本文化研究会を改称），於神戸生田神社会館。
- 2018 H30 11 「「わらしべ長者」の比較研究——昔話の話型の分類をめぐって——」日韓比較文学研究会大会，於同志社大学。
- 2019 H31 2 「話型「天人女房」の比較研究」東亜細亜古代学会冬季国際学術大会＋日韓比較文学研究会，於同志社大学。
- 2019 H31 3 「平安時代の儀式書に見る大嘗祭」日本文化学会，於同志社大学。
- 2019 R1 8 「シンポジウムテーマ「日本の古代信仰と芸能」」，「『宇治拾遺物語』の猿楽」日本文化学会大会＋科研「古代寺院における「伝」と「像」の制作活動——長安と平城京の諸寺院間ネットワーク」（代表・蔵中しのぶ），於神戸女子大学。
- 2019 R1 8 「シンポジウムテーマ「伝・物語と口承文学」」，「私の物語文学研究の方法」日本文化会大会＋科研「古代寺院における「伝」と「像」の制作活動——長安と平城京の諸寺院間ネットワーク」（代表・蔵中しのぶ），於神戸女子大学。
- 2019 R1 12 「『宇治拾遺物語』藤原朝成 水飯考」同志社大学国文学会，於同志社大学。
- 2020 R2 1 「シンポジウムテーマ「文献説話と口承文芸」」基調講演，司会とコーディネーター，説話・伝承学会，於同志社大学。
- 一般講演
- 2003 H15 7 「歌集の中の紫式部 ——思い出としての半生——」京都アスニ

- ー・ゴールデン・エイジ・アカデミー。テーマ「王朝時代と京都」於京都市生涯学習総合センター。
- 2004 H16 1 市民講座「古典の読み方・考え方① ——鎌倉期の物語『宇治拾遺物語』をめぐって——」京都アスニー・セミナー。於京都市生涯学習総合センター。
- 2004 H16 2 市民講座「古典の読み方・考え方② ——鎌倉期の物語『宇治拾遺物語』をめぐって——」京都アスニー・セミナー。於京都市生涯学習総合センター。
- 2004 H16 8 「風景に見る清少納言」京都アスニー・ゴールデン・エイジ・アカデミー。テーマ「平安朝の女性と文学」於京都市生涯学習総合センター。
- 2004 H16 9 「地獄に堕ちた紫式部——実相院蔵『源氏供養』をめぐって——」実相院文化遺産修復事業第一回講演会。於京都市岩倉，実相院。
- 2004 H16 11 市民講座「説話における宇治——宇治から読み解く古典文学」龍谷大学エクステンコミュニティカレッジ，於龍谷大学エクステンションセンター。
- 2005 H17 3 「京都北山を舞台とする『源氏物語』」実相院文化遺産修復事業 第四回講演会。於京都市岩倉，実相院。
- 2005 H17 5 「平安京の物語・物語の平安京」京都アスニー・ゴールデン・エイジ・アカデミー。テーマ「物語と平安京」於京都市生涯学習総合センター。
- 2006 H18 3 「『源氏物語』宇治十帖の行く方——男女の愛執から罪の救済へ——」実相院文化遺産修復事業 第七回講演会。於京都市岩倉，実相院。
- 2006 H18 10 兵庫県大学連携講座「ひょうご講座 『源氏供養草子』から見る『源氏物語』——地獄に堕ちた紫式部——」ひょうご大学連携事業推進機構，於神戸交通センター。
- 2006 H18 11 兵庫県大学連携講座「ひょうご講座 『大雲寺縁起』から見る『源氏物語』——北山における光源氏——」ひょうご大学連携事業推進機構，於神戸交通センター。
- 2006 H18 12 市民講座「名作古典の中の長岡京——『伊勢物語』と長岡京——」於長岡京市立総合交流センター中央生涯学習センター。
- 2007 H19 1 市民講座「名作古典の中の長岡京——『源氏物語』と大原野神社——」於長岡京市立総合交流センター中央生涯学習センター。
- 2007 H19 10 市民講座「平安京の物語『源氏物語』①，桐壺巻・乙女巻，於長岡京市立中央生涯学習センター。
- 2007 H19 11 市民講座「平安京の物語『源氏物語』②，若菜巻・浮舟巻，於長岡京市立中央生涯学習センター。
- 2008 H20 2 「平安朝の物語の邸宅と系譜」京都アスニー・ゴールデン・エイジ・アカデミー。テーマ「平安京と文学」於京都市生涯学習総合センター。
- 2008 H20 4 「『源氏物語』千年紀記念講演「源氏供養 紫式部追善供養の儀式と

- 物語」於京都市岩倉，実相院。
- 2008 H20 8 「湖北の神話と昔話——「天人女房」の話型をめぐって——」滋賀県レイカディア大学 米原校必修講座，於滋賀県立文化産業交流会館。
- 2009 H21 11 『『枕草子』記憶の光景』京都アスニー・ゴールデン・エイジ・アカデミー。於京都市生涯学習総合センター。
- 2010 H22 5 「日本の古典と昔話——共有される話型をめぐって——」オープンカレッジ講座「語りの文化講座」，於國學院大學。
- 2011 H23 6 「歴史を生きた女性たち 中宮女房としての紫式部——『源氏物語』に盛られた毒——」八幡市リカレント教育推進講座，於八幡市生涯学習センター。
- 2015 H27 12 「みんなで楽しむ源氏物語Ⅰ——入門から深い解釈まで——」於豊中市立蛍池公民館・図書館。
- 2016 H28 12 「みんなで楽しむ源氏物語Ⅱ——名場面の魅力を探る——」於豊中市立蛍池公民館・図書館。
- 2017 H29 10 劇団ドルフ主催「まつろはぬものの記——探訪宇治拾遺物語——」座談会，於黒谷永運院。
- 2017 H29 12 「みんなで楽しむ源氏物語Ⅲ——源氏物語の名文を読む——」於豊中市立蛍池公民館・図書館。
- 2018 H30 10 リーガクラブ講座「わらしべ長者の伝説——京都と奈良をつなぐ物語——」於大阪リーガロイヤルホテル。
- 2018 H30 12 「みんなで楽しむ源氏物語Ⅳ——光源氏の生き方から学ぶ——」於豊中市立蛍池公民館・図書館。
- 2019 R1 12 「みんなで楽しむ源氏物語Ⅴ——平安時代の結婚のかたち」於豊中市立蛍池公民館・図書館。

〔注記〕

- 1 「論文」は，原則として400字詰原稿用紙に換算して30枚以上の論考をいうものとする。分量的にこれ以下のものは「その他」として扱った。
- 2 編者のある著作中の論考は「論文」として扱い，共著とはみなさなかった。
- 3 一般講演は，社会人を対象として公開されている公的機関や大学主催のものとし，私的ないわゆるカルチャーセンターの講座類は除外した。